

Ⅳ 「税って何かな？」 パワーポイント版・ゲーム編 《参加・体験型》

※授業開始前にパソコンやプロジェクターを準備し、スライドショーの最初の画面を出しておきましょう。

▶ 導入

〈このテーマは約5分〉

1 あいさつ・自己紹介



自己紹介

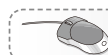
皆さんこんにちは。私は税理士の〇〇〇〇です。

皆さんは「税」という言葉にどのようなイメージを持っていますか？身近にあるのに、いまひとつよく分からない。税とはそんなイメージではないでしょうか。今日は、そんな税について税理士である私たちと一緒に考えていきましょう。

（自己紹介は、児童生徒との最初の接点です。明るく、元気に、さやかに、児童生徒の気持ちを一気に引き付ける気構えで始めましょう。

学校の先生の承諾があれば早めに教室に入り、クラスの雰囲気に馴染めるよう、児童生徒とコミュニケーションをとりましょう。

無理に盛り上げたり、笑わせたりする必要はありません。得意な方法で児童生徒の心を掴んでください。そして一緒に考え、誠心誠意伝えていくことを心がけましょう。）



〔クリック〕で次画面へ

2 税理士の仕事



職業紹介

皆さんは「税理士」って聞いたことがありますか？どんな仕事をしているか知っていますか？

はい、皆さんよく知っていますね。仕事の内容は？

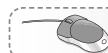
（発言を求める。）

はい、その通りです。／そこまでは分からないかな。

病気になったらお医者さん。勉強が分からないときは学校の先生。それと同じで、税金について分からなければ税理士が相談にのってくれます。

税理士は「税理士法」という法律で決められている職業です。主に商売をしている人や会社が、税金を計算して納めるお手伝いをしています。

（税理士職業紹介が租税教室の主たる目的ではありませんが、税理士について知ってもらうために、簡単でもよいので説明しましょう。）



〔クリック〕で次画面へ

3 「税キング」登場



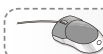
登場人物の紹介

これから一緒に勉強するキャラクターを紹介します。男の子がタイチさん、女の子がユミさん、そして右にるのが先生です。

先生が、今日は頼もしい仲間が来てくれたと話していますよ。
(順番に〔クリック〕)

紹介します。「税キング」です。たくさん出てくるから楽しみにしてくださいね。

(補助講師がいない場合は、「税キング」を補助講師のように扱うのもよいでしょう。)



〔クリック〕で次画面へ

I. ゲーム (税金を集める)

〈このテーマは約25分〉

4 ゲームを始めよう



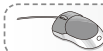
ゲーム開始

皆さん、準備はいいですか？ それでは、ゲームを始めましょう。ゲームをしながら、税の集め方について、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

(この「ゲーム編」は、税の集め方についてのゲームから始まりますので、児童生徒が、税の重要性・必要性をある程度理解している(説明を受けている)ことが前提です。)

ゲームの目的

- ① 「税を公平に集める」ことを通して社会を考え、それぞれ立場が違う中で少数意見を大切に、対立の中から相手を重んじ合意を形成していく過程を体感すること。(公平と平等の違い、公平には様々な考えがあること、立場が違えば公平も違うことがあること)
- ② ゲームで体感した事を基に、約 50 種類もの税があるのは、立場の違う人達の公平性を保つためだと気付くこと。
- ③ 集め方決定の過程により、国民主権、民主主義、租税法律主義等を理解し、税は自らが社会参画し自分たちが決めていくものだ理解すること。(私たちが主人公)



〔クリック〕で次画面へ

5 ゲーム①



国名の決定とグループ分け

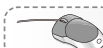
まず、このクラスを一つの国とします。名前をつけましょう。

—— 国がいい！

みんなこの名前でよいか？では、この国の名前は 国にしましょう。

それでは、三つのグループに分かれてもらいます。そしてそれぞれのグループで代表者を決めてください。(打合せ時に先生に依頼し、グループ・代表者を事前に決めておいてもらいましょう。)

はい、決まりましたね。



[クリック]で次画面へ

6 ゲーム②



同じ所得の時の集め方(平等という考え方)

このA、B、Cの三つのグループそれぞれの稼いだお金、つまり所得はまずは同じだと仮定します。

さて、この 国では、みんなが豊かに健康的に、文化的に、安心して安全に暮らすために必要な予算が300万円だとします。この300万円を皆さんからの税金で賄うことにします。(時間があれば、税の使い道として、広い校庭、新しい校舎、遊具など、この国に必要なものを児童生徒に決めてもらうのもよいでしょう。)

そこで、300万円を三つのグループから集めるとしたら、いくらずつ集めればよいでしょう？

——100万円ずつ！

早いですね！はい、100万円ずつ同額で集める方法がありますね。

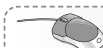
(質問の回答が出なかった場合は、講師が100万円ずつですね、と誘導してください。)

この集め方は、みんな平等でしょうか？

——平等だと思います！

本当かな？

(同額を集めることが「平等」という考え方からスタートします。この後に「平等」と「公平」の違いを説明するための導入部分ですので、時間をかけすぎないようにします。各グループの負担が100万円である事が「平等」であるかをしっかり確認してください。)



[クリック]で次画面へ

7 ゲーム③



異なる所得の時の集め方

では、稼いだお金、所得がそれぞれ違ったらどうでしょうか。それでは、皆さんのお金を発表します。Aグループは700万円、Bグループは250万円、Cグループは50万円とします。

AグループからCグループまで、所得がそれぞれ異なるなかで、300万円を集めてみましょう。



[クリック]で次画面へ

8-13 ゲーム④



様々な集め方、立場の違いと公平感

(順番に[クリック])

先ほどと同じように100万円ずつ集めると、このようになります。Bグループの残りのお金は150万円、Cグループは50万円足りない。Aグループは、まだ600万円も残っているね。

Cグループ、この集め方でよいですか？

——無理だよ！

(Cグループ) Aグループはお金がたくさんあるから、Aグループに全部払ってもらいたいです。それでも400万円も残るでしょう？

Aグループ、それでよいですか？

——(Aグループ) いやだよ！ Bグループからも Cグループからも集めないとおかしいよ！

「各グループ同額」

所得の違いによりCグループは決められた100万円が払えません。Cグループに意見を求めましょう。所得の一番多いAグループは100万円負担しても、残りの金額が600万円であり、Bグループも150万円残ることを気づかせ、Aグループ、Bグループ、Cグループの代表者にそれぞれの考え方を聞いてみるとよいでしょう。

何となく公平ではないと感じさせることがここでの「ねらい」です。

「Aグループのみ」

所得の一番多いAグループに全額負担してもらう(特定の人が負担する)考え方です。それでもAグループは400万円残ります。

みんなで利用する公共的なものをAグループ(特定の人)だけが負担することの不公平感を、児童生徒から意見として出るように心がけ、「立場の違いと公平感」、「平等と公平の違い」を感じてもらいましょう。



[クリック]で次画面へ

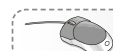
14 ゲーム⑤



公平に感じられる集め方とは

では、どのように集めればよいと思いますか？案がある人は、手を挙げてください。できるだけ「公平」に集めることを頭に入れて考えてください。

(「できるだけ公平」に集めるということを念頭に入れ、他の方法を児童生徒に考えさせてください。)



[クリック]で次画面へ

15-16 ゲーム⑥



同じ税率と段階をつけた税率

(順番に[クリック])

——持っているお金の合計が1,000万円で、集めるお金が300万円だから、みんな30%で集めたらよいと思います。

それでは、皆さんから30%ずつの同率で集めるのはどうでしょう？このようになりますが、これでいいですか？

——(Cグループ) これじゃあ暮らしていけないよ！

——Aグループはまだまだ余裕だよ、ずるいよ！

(30%と同じ結果となる、「14:5:1の比で…」と発言する場合も多いです。児童生徒の意見をよく聞き、異なる意見が存在することを確認するようにします。)

立場が変わったらどうですか？Aグループも来年はCグループのようになるかもしれないし、BグループやCグループが来年はAグループのようになるかもしれないですよ。自分のことばかり考えず、相手の立場も考えて、どのように集めたらよいか考えましょう。ほかにどのような集め方が考えられるでしょう。

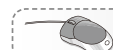
(所得を入れ替えたりして、立場を変えることで相手を思うこと(思いやり)についても考えさせ、立場が変われば公平の感じ方も変わるということに気付かせましょう。)

——余裕のないCグループを少なめにして、余裕のあるAグループがもっと出す方法があると思います。

——割合を変えたらどうですか？

(何も出なかった場合、余裕のないCは少なめにして、余裕のあるAにもっと出してもらおう方法はどうか、などのヒントを出しましょう。)

平等には集めていないけれど、比較的納得感や公平感を感じる集め方に近づいた気がしませんか？ここまで出てきたやり方を整理してみましょう。



[クリック]で次画面へ

17-18 ゲームまとめ

	所得	同額ずつ	Aだけ	30%	最速課税
A	700万円	100万円	300万円	210万円	35%→245万円
B	250万円	100万円	0円	75万円	20%→50万円
C	50万円	100万円	0円	15万円	10%→5万円
計	1,000万円	300万円	300万円	300万円	300万円

これだけ方法があるとどれが正解かわからなくなってきちゃー

国ではどの方法にしましょうか？みんなで話し合ってみましょう

	所得	同額ずつ	Aだけ	30%	最速課税
A	700万円	100万円	300万円	210万円	35%→245万円
B	250万円	100万円	0円	75万円	20%→50万円
C	50万円	100万円	0円	15万円	10%→5万円
計	1,000万円	300万円	300万円	300万円	300万円

ゲーム終了(集め方の決定)

この他にはないでしょうか？自分で考えた集め方や、みんなからの発表で出た案をもとに、代表者を中心に、グループごとに集め方を話し合って決めてください。

話し合う時に、みんなの意見を尊重して少数意見にも耳を傾けてください。集め方の正解はありません。どの方法でもかまいませんが、集め方の理由も考えてくださいね。

(もし他の考え方が出たら、黒板等にも書き出しましょう。)

[クリック]

※5分程度話し合う時間を取ってください。

それでは各グループの代表者は発表してください。

では代表者3人で話し合って一つの方法に決めてください。できれば、どうしてその案になったかも発表してくださいね。

今回は〇〇の方法で集めることになりました。

(代表者が集まり決定することが国会の開催にあたります。「対立」から「合意」に至る過程で、自らの意見と相手の意見の違いをよく考え、合意形成していく大切さを実感させ、少数意見を切り捨てないよう助言をしていきます。)

税金は勝手に決められてしまうものではなく、「私たちが自分の考えで決めるもの」ということを実感してもらいましょう。(ゲームの目的の再認識)

話し合いや、多数決の結果、一つに決まらなかった場合、「集める方法」は、児童生徒の意見を尊重し、複数決めてもよいでしょう。)

(ゲーム終了)拍手等で必ず区切りをつけます。(児童生徒の気持ちをゲームから切り替えさせましょう。)



[クリック]で次画面へ

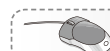
19 選挙、立法、課税



税はどうやって決まるのか

今、みんなで税を集める方法を一つに決めましたね。これは日本の実際の仕組みと同じなのです。

これで、ここにいるみんなが納得する集め方になりましたか？「ちがう集め方がいい」と思った人もいるのではありませんか？では、どうすればみんながより納得する集め方にすることができのでしょうか？



「クリック」で次画面へ

20-25 様々な集め方と実際の税目

	所得	商標すつ	Aだけ	30%	家賃控除
	700万円	100万円	300万円	210万円	35% = 245万円
	250万円	100万円	0円	75万円	20% = 50万円
	50万円	100万円	0円	15万円	10% = 5万円
計	1,000万円	300万円	300万円	300万円	300万円

さっきは所帯について
税金の集め方を考えたけど、
税金の種類によって、色々な方法を
使い分けているんだよ

具体例として日本の税目を紹介

(順番に「クリック」)

色々な集め方が出てきましたね。先ほどは所得についての税金の決め方でしたが、実際には、税金の種類ごとに集め方を変えています。いくつか例を見てみましょう。

(それぞれの集め方が実際の各種の税の仕組みに当てはまることを伝えましょう。)

「同額ずつ」…消費税

同じものを買った人はみんな同じ額を支払います。

「〇〇だけ」…固定資産税、自動車税

その税の対象となるものを持っている人だけが払います。

「〇%」…法人税、住民税（個人）

決められた割合に基づいて支払います。

「累進課税」…所得税

ゲームでも取り上げた所得税で使われている考え方ですね。

このように、集め方を一つに決めるのではなく、いくつもの集め方を組み合わせることで、みんながより納得する集め方にすることができるようになります。そのため、日本には主な税金が約50種類もあります。

集め方が1種類だけだとみんなが「公平」とは思えませんが、約50種類もの税を組み合わせることにより、できるだけ「公平」に感じてもらうような仕組みとなっています。



「クリック」で次画面へ

▶ II. 財政の現状と今後の課題

〈このテーマは約10分〉

26 財政



財政に関して(導入)

最後に日本の「財政」のことをお話したいと思います。簡単な言葉で言うと、国の「お財布」のことです。納められた税金など、お財布に入ってくるお金を「歳入」、国がいろいろなことに使いお財布から出ていくお金を「歳出」と言います。

では、集められた税がいくらになって、どれくらいのお金が使われているのかという日本の財政の状態について見てみましょう。

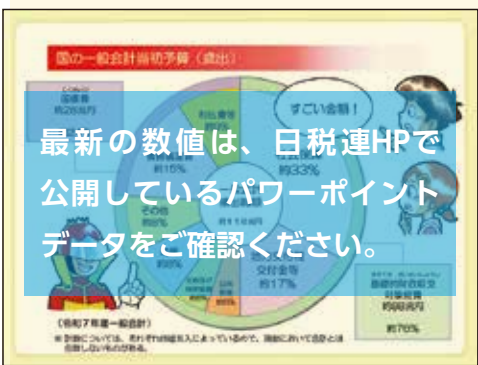
(財政赤字や少子高齢社会であることなど、現在の日本が抱える課題に触れることで、国や国の財政、税金の使途等について関心を抱かせましょう。)

危機感を煽ることではなく、公正な判断力を備えた国民として成長できるよう、児童生徒が自ら考えるようになるきっかけを作ることが目的です。)



〔クリック〕で次画面へ

27 歳出



日本の歳出

(順番に〔クリック〕)

令和7年度の国の財政（一般会計予算案）は、税の使い道、つまり、みんなが豊かに健康的に、文化的に、そして安心して安全に暮らすために、警察や消防、病院、学校、防災、宇宙開発等に使われるお金が約116兆円になっています。

一番使われているのは何かな？

——社会保障！

そうだね。少子高齢化という言葉は聞いたことあるかな？

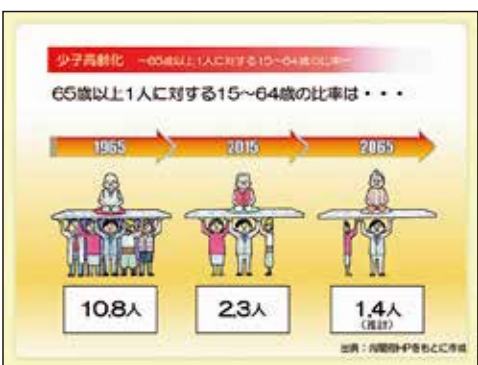
(の数値は、日税連HPに公開しているパワーポイントに合わせて変更してください。)

(時間がある場合は、費目ごとにどのようなことに使われているか、掘り下げて説明しましょう。身近な例と結びつけて紹介すると児童生徒が理解しやすくなります。)



〔クリック〕で次画面へ

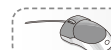
28 少子高齢化



労働人口の推移

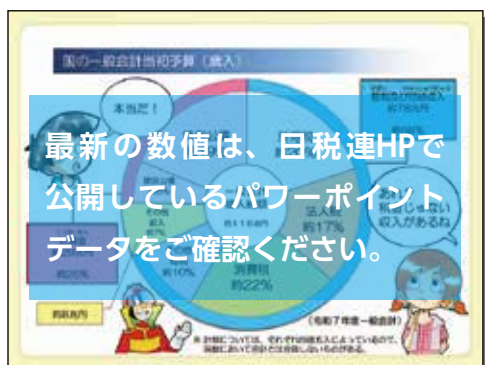
1965年では65歳以上のお年寄り1人に対して15歳から64歳は10.8人であったのに、2065年にはお年寄り1人に対し1.4人で支えることになると言われています。

(少子高齢化や他の社会問題等についても触れてみましょう。)



〔クリック〕で次画面へ

29 歳入

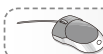


日本の歳入

（順番に〔クリック〕）

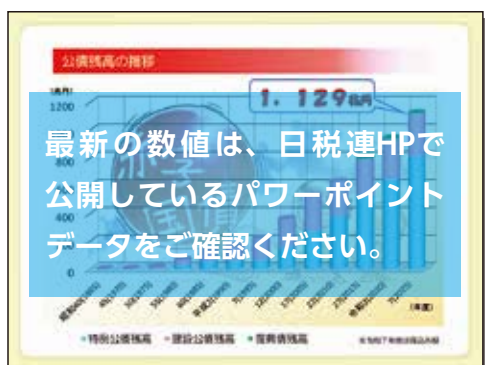
今度は収入を見てみましょう。さっき必要なお金、支出額は約116兆円といいましたね。

でも、みんなが出し合うこの国の税金は約87兆円しかないので、必要な金額のうち、約75%程度ということですね。
（一人一人が自分の国の問題として、今後どのように解決していくのか関心を持ってもらうことが重要です。それによって、主権者として積極的に社会参画する意識を持つことができるようになるでしょう。（私たちが主人公））



〔クリック〕で次画面へ

30 公債残高の推移



公債残高

（順番に〔クリック〕）

では、足りない分はどうするのでしょうか。それは借金によって賄われているのです。今、日本は税金で集まるお金より使うお金の方が多いために借金が増え続けている、「財政赤字」という問題を抱えています。

（児童生徒に過度な不安を抱かせないために、「借金を減らす努力をしています」という言葉を加えて、問題解決に取り組んでいることを伝えたいでしょう。）

では、この問題を解決するにはどうしたらよいでしょうか？
（発言を求める。）



〔クリック〕で次画面へ

31-33 借金を減らすには



国債を減らすにはどうすればよいか

借金を減らすには、税金を増やすか、使うお金を減らす必要があります。

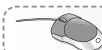
どちらも簡単なことではないし、他に良い方法があるかも知れません。でも皆さんにすぐにでもできることがありますよ！

(順番に[クリック])

みんなで意見を出し合って、考えていかないといけないですね。とても難しい問題ですが、私たち一人一人が主人公、つまり「主権者」として考えなくてはなりません。

皆さんが考えた意見を、話し合ったり行動に移したりしていくことが、日本の社会を支える民主主義なのです。

(ゲームで「この国に必要なもの」を児童生徒が決めた場合、それが本当に必要なものであったかをもう一度話し合う事により、税の無駄遣いについて考える事ができます。)



[クリック]で次画面へ

▶ 結びに

〈このテーマは約5分〉

34-37 授業のまとめ



授業のまとめ

(順番に[クリック])

(締めくくりの重要なメッセージを伝える前に、一息入れましょう。)

これからの日本を支えていくのは、皆さんです。今よりもっと素敵な日本にするために自分たちがどうすればいいのか、今回の学習がそれを考えるきっかけになればと思います。

それでは本日の「税を通して皆さんと一緒に社会を考える学習」を終了します。ありがとうございました。

(社会を支える一員であることを自覚してもらい、様々な問題に関心を持ち、自分のこととして考えるきっかけを作ってください。)

